



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年12月22日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

16

12月22日の終業式で、次の話をしました。

2学期始業式は、近くのコンビニで怪我をした方の応急処置を、八高生が助けてくれたことへの地域の方からのお礼の話を紹介しました。

2学期の結びにあたり、11月終わりにJR福知山駅で体調を悪くされた方を、八高生が助けてくれたことへのJRからお礼の電話をいただいたことを紹介できることを、心から嬉しく思います。

「あなたは大切な人」という気持ちをしっかりと伝え合う、これからもそのような人でいてほしいと強く願います。

オーストラリア、ケアンズでの語学研修に参加した皆さん、おつかれさまでした。一回りも二回りも成長して帰ってきた皆さんを、ご家族の皆さんはもちろんでしょうし、私たちも心から誇りに思っています。結団式でお話した、トヨタ自動車の創業者である豊田佐吉氏のことば、「障子を開けてみよ、外は広いぞ」を、ここにいる全員が、あらためてかみしめていただきたい。なにごとも「あたりまえ」と思わず、より広い世界に目を向けつつ、人の幸せとはなにか、人間にとって質的な豊かさとはなにかを、問い続ける人でいてください。

3年生の皆さんは、いよいよ高校生活という滑走路を走り終え、大空へと羽ばたく日が近づいています。「これでよし!」と、自分自身に言えるよう、進路実現に向けて全力を尽くしてください。1、2年生の皆さん、2024年に向けて、あなたの輝きにいつそう磨きをかける決意と努力を期待します。

今日はひとつのエピソードを紹介して式辞に代えたいと思います。

たいへんよく知られた話ですので、すでに知っている人もいるでしょう。知っているひとは、おさらいのつもりで聞いてください。

(A Brother Like That)

繰り返します。あなたは大切な人です。その存在は何物にも代えがたい。あなたにとって大切な人、そしてあなたを大切だと思っている人、そしてあなた自身を大切に、安全安心な冬休みを送り、3学期始業式に出会いましょう。

以上、式辞とします。